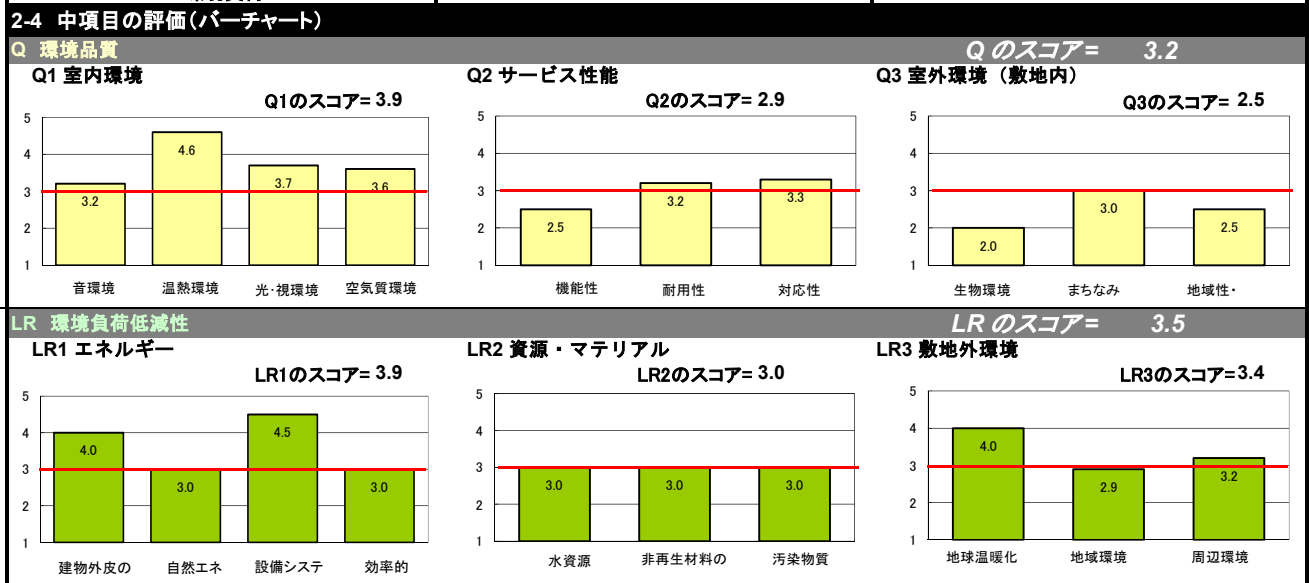
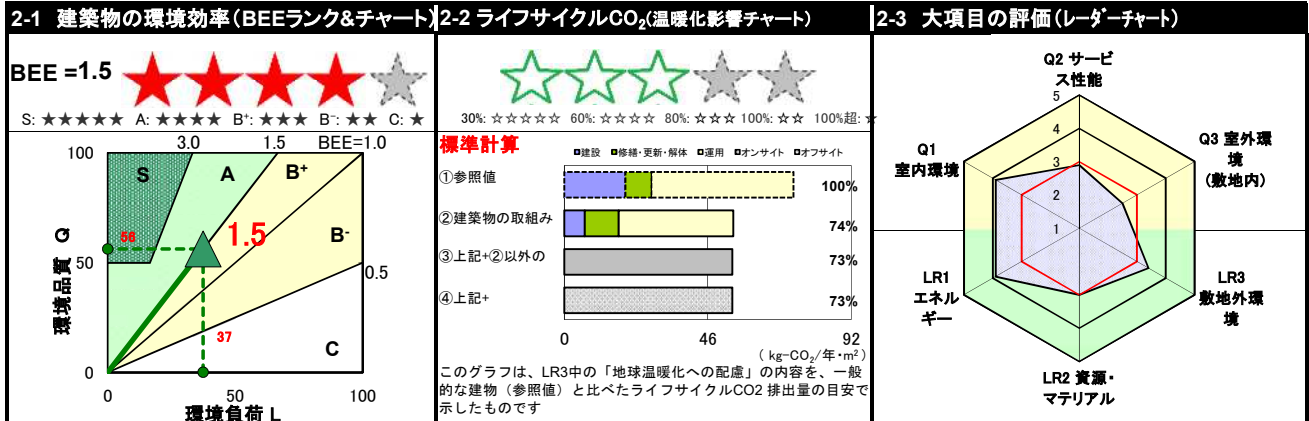


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市泉町計画	階数	地上14F
建設地	神奈川県厚木市泉町783-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2024年7月12日
敷地面積	3,163 m ²	作成者	株式会社 安宅設計
建築面積	942 m ²	確認日	2024年7月12日
延床面積	7,198 m ²	確認者	株式会社 安宅設計

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
「暮らしと密接に係る有機的なデザインの建築」 厚木の土地にインスピレーションを受けて、自然を感じる、生きている建築を造ります。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
住宅部分について、断熱等性能等級5としている。F☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮した設計としている。	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱等性能等級5、BEI=0.74としている。	LGS下地を採用している。	LCCO ₂ 排出率73%とし、光害抑制にも配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される